DP-415R



ユーザーマニュアル

4チャンネル DMXディマー／スイッチパック

株式会社 サウンドハウス
〒286-0825　千葉県成田市新泉14-3
TEL : 0476(89)1111　FAX : 0476(89)2222
http://www.soundhouse.co.jp　shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は、American DJ の DP-415Rをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。DP-415Rは、標準的なDMXコントローラーで操作可能な、4チャンネルのディマー／スイッチパックです。16種類のチェイスプログラムを内蔵しており、各チャンネルに、接地極付き3ピン出力を2口ずつ（合計8口）備えています。本製品を安全に末永くご利用いただくため、ご使用になる前に、この取扱説明書をかならずお読み下さい。

機能

- DMX512による制御とRDMによるアドレス設定
- 1、2、4 DMXチャンネルの割り当て
- 各出力のスイッチ（オン／オフ）またはディマー（0～100%）設定
- 16種類の内蔵チェイスプログラム
- 4チャンネル×各2口の接地極付き電源出力

開梱と点検

本機は出荷前に動作検査されています。梱包箱に輸送中の損傷がないか確認してください。箱に損傷がある場合は、本体に破損がなく、動作に必要な付属品がそろっているか確認してください。破損や不足があれば、お近くの販売店へ連絡してください。梱包材は可能な限りリサイクルしてください。

安全上の注意



アースの接続を確実に行ってください。
本製品は保護クラスIの機器です。



本製品を分解して、修理や改造をおこなわないでください。
感電のおそれがあります。



本製品は、屋内の乾燥した場所で使用してください。

1. 開梱時に、部品の破損や欠品がないか確認してください。
2. 異常が見つかった場合は、速やかに使用を中止してください。
3. 本製品は、安全で安定した場所に設置してください。
4. 本製品の設置と接続は、有資格者が行ってください。
5. 吊り下げには、メーカー指定の取付金具を使用してください。
6. 電源ケーブルは、踏まれたり、挟まれたり、しない場所に固定してください。
7. すべての機器の接続が完了してから、本製品の電源を入れてください。
8. ケーブルを抜き差しするときは、プラグの部分を持ってください。
9. プラグやコネクターを無理に差し込まないでください。
10. AC100V 50/60Hz にて使用してください。
11. 電源プラグの接地極を取り外さないでください。
12. 本製品の電源プラグを、他のディマーパックの出力につながないでください。
13. 電源ケーブル、プラグ、コネクターが破損している場合や、確実に接続できない場合は、使用を中止してください。
14. 破損した電源ケーブル、プラグ、コネクターの交換には、同等の定格を持つ部品を使用してください。
15. 通気を確保するため、壁や他の機器から約15 cm離して設置してください。
16. 運転中は、可燃物を本製品に近づけないでください。
17. 本製品の操作は、取扱方法を理解した担当者が行ってください。
18. 本製品を振ったり、過度な力を加えたりしないでください。
19. 清掃の前に、電源プラグをコンセントから抜いてください。
20. 長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
21. 異物や液体が入った場合、雨や湿気にさらされた場合、または動作に異常がある場合は、サービス担当者に点検を依頼してください。
22. 修理のために輸送する際は、元の梱包箱と緩衝材を使用してください。

屋外や湿気のある環境での使用、および分解・改造・自己修理は、メーカー保証の対象外です。異常や故障が発生した場合は、販売店またはサウンドハウスにご連絡ください。

各部の名称

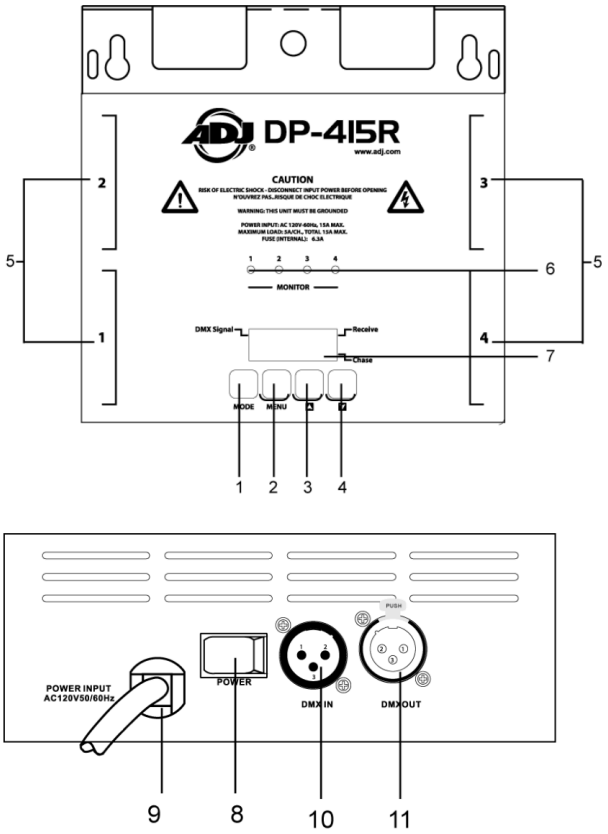


図1　操作面と接続面

番号	名称	機能
1	MODE	Receive（DMX制御）とChaseを切り替える。
2	MENU	現在のモードで設定項目を切り替える。
3	UP	LED表示の設定値を上げる。
4	DOWN	LED表示の設定値を下げる。
5	電源出力	接地極付き3ピン出力。各チャンネル2口、合計8口。
6	緑色のチャンネルLED	対応するチャンネルの動作を示す。
7	LEDディスプレイ	動作モード（Receive／Chase）と設定値を表示する。
8	POWER	本機の主電源をオン／オフする。
9	電源コード	本体直付けの電源コード（1.5 m）。
10	DMX IN	3ピンXLRのDMX入力。
11	DMX OUT	3ピンXLRのDMX出力。

設置について

クランプを使用した取り付け

別売のクランプを使用して、トラスや照明スタンドに取り付けられます。

1. 本体上面の取付穴に、M10×1.5のねじでクランプを確実に固定します。
2. クランプが本体にしっかり固定されていることを確認してから、トラスまたは照明スタンドに取り付けます。



図2 トラスへの取り付け例

接続できる負荷の上限

対象	最大負荷
1チャンネル（2口の合計）	5 A／500 W
本機1台（4チャンネルすべての合計）	15 A／1,500 W

接続前に照明機器ごとの消費電流・消費電力を確認し、チャンネルごとの上限と本機全体の上限を両方守ってください。

DMXセットアップ

電源の確認

電源を入れる前に、供給電源が本体銘板の定格に合っていることを確認してください。電源仕様は設置場所により異なります。

DMXケーブル

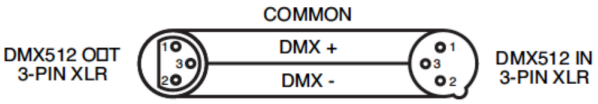
入出力にはDMX512対応の110 Ωデータケーブルを使用してください。ケーブルを製作する場合は、110～120 Ωのシールドケーブルを用い、両端にそれぞれオスとメスのXLRコネクターを取り付けます。



図3　3ピンXLR DMXケーブルの端子

DMXコントローラーの出力を本機のDMX INに接続します。複数台を接続する場合は、本機のDMX OUTから次の機器のDMX INへ順につなぎます（デイジーチェーン）。ケーブルを分岐させないでください。

3ピンXLRのピン配列



ピン	信号
1	コモン（シールド）
2	DATA −（Cold／反転信号）
3	DATA ＋（Hot／正相信号）

シールドの接続
シールド線をXLRコネクターの筐体用接地端子（グラウンドラグ）につながず、外側の金属ケースにも触れさせないでください。短絡や誤動作の原因になります。

DMXラインの終端

長距離配線では誤動作を抑えるため、デイジーチェーンの最後の機器にDMXターミネーターを取り付けます。原文の指定は、オスXLRのピン2とピン3の間に90～120 Ω、1/4 Wの抵抗を接続したものです。このコネクターを最後の機器のメスXLR端子（DMX OUT）に差し込みます。

システムメニュー

Receive（DMX制御）

DMXコントローラーから本機を1、2または4 DMXチャンネルで操作します。出力チャンネルごとに、オン／オフを切り替えるスイッチ動作、または出力レベルを連続的に調整するディマー動作を選べます。

設定と接続

1. 本機を適合する電源に接続して電源を入れます。
2. MODEボタンでReceiveを選びます。表示部の「Receive」横のLEDが点灯します。
3. アドレス画面（例「A:001」）でUP／DOWNを押し、DMX開始アドレスを001～512から設定します。RDM対応のDMXコントローラーからも設定できます。
4. MENUを1回押し、UP／DOWNで「CH:01」「CH:02」「CH:04」のいずれかを選びます。下表で出力との対応を確認してください。
5. MENUで対象の出力（C1～C4）を選び、UP／DOWNで「S」（スイッチ）または「d」（ディマー）を選びます。出力1の表示例は「C1-S」「C1-d」です。
6. MENUを押してDMX開始アドレスの表示に戻します。
7. コントローラーから本機のDMX INへ、別売の3ピンXLR DMXケーブルを接続します。後続機器がある場合はDMX OUTから次の機器へ接続します。
8. 照明機器を目的の出力に接続します。本体合計15 A／1,500 W、各出力チャンネル合計5 A／500 Wの上限を守ってください。

設定後は、各出力が選択した動作方式に従ってオン／オフ、または0～100%の調光を行います。



図4　Receiveで開始アドレス001を設定した例

Chase（内蔵プログラム）

内蔵の16プログラムを使い、4チャンネルを本機単体で順次動作させます。各出力は選択したプログラムに従い、スイッチ設定ではオン／オフ、ディマー設定では調光します。チェイス速度と調光レベルを設定できます。

プログラムの設定と実行

1. 本機を適合する電源に接続して電源を入れます。
2. MODEボタンでChaseを選びます。表示部の「Chase」横のLEDが点灯します。
3. プログラム番号画面（例「P:01」）でUP／DOWNを押し、01～16のプログラムを選びます。
4. MENUを1回押して速度の画面（例「SP:01」）に進み、UP／DOWNで01～99に設定します。01は最も遅く1ステップ30秒、99は最も速く約0.1秒です。
5. MENUを1回押して調光画面（例「d100」）に進み、UP／DOWNで000～100に設定します。000はブラックアウト（消灯）、100は最大です。
6. MENUで対象の出力（C1～C4）を選び、UP／DOWNで「S」（スイッチ）または「d」（ディマー）を選びます。出力1の表示例は「C1-S」「C1-d」です。
7. MENUを押してプログラム番号の表示に戻します。
8. 照明機器を目的の出力に接続します。本体合計15 A／1,800 W、各出力チャンネル合計5 A／600 Wの上限を守ってください。
9. 選択したプログラムが実行されます。各出力はスイッチ（オン／オフ）またはディマー（0～100%）として動作します。

LED画面の表示例

表示例	項目	設定範囲・意味
P:01	プログラム	01～16
SP:01	チェイス速度	01～99（低速～高速）
d100	調光レベル	000～100（消灯～最大）
C1-S ／ C1-d	出力モード	チャンネル1のスイッチ／ディマー



図5　Chaseでプログラム01を設定した例

DMXチャート

チャンネルモードとDMX割り当て

表示	出力1	出力2	出力3	出力4
CH:01	1	1	1	1
CH:02	1	1	2	2
CH:04	1	2	3	4

表中の数字は開始アドレスを「1」とした相対DMXチャンネル番号です。

DMX値と動作

出力モード	DMX値	動作
スイッチ（S）	0～126	オフ
スイッチ（S）	127～255	オン
ディマー（d）	0～255	出力レベル 0～100%

トラブルシューティング

症状	確認すること
本機の電源が入らない	電源プラグを抜き、差し直します。改善しない場合は、施設の分電盤で該当回路のブレーカーが落ちていないか確認します。
チャンネルから出力されない	接続機器のプラグが本機に確実に差さっており、接続機器側の電源スイッチがオンかを確認します。改善しない場合は、ヒューズの点検をサービス担当者に依頼してください。
DMXで操作できない	DMX IN／OUTの接続とケーブルの損傷を確認します。コントローラーの電源、送信値、DMX開始アドレスを確認します（「システムメニュー」「DMXチャート」参照）。
Chaseで点灯しない	出力モードと調光レベルを確認します。調光レベルが「000」の場合は消灯するため、000より大きい値に変更します（「Chase（内蔵プログラム）」参照）。

ヒューズ交換（サービス担当者向け）

電源プラグを抜き、背面パネルのプラスねじ4本を外します。基板上の該当ヒューズを点検し、必要に応じて交換します。基板の表示はTH1＝出力1、TH2＝出力2、TH3＝出力3、TH4＝出力4です。交換後は、背面パネルとねじを元の位置に戻します。

清掃・定期点検

清掃や保守の前に電源を切り離してください。使用環境に応じて柔らかい布で本体外装を拭きます。湿気、煙、ほこりの多い環境では汚れがたまりやすくなります。アルコール、溶剤、アンモニア系洗剤は使用しないでください。

- 3か月ごとに有資格の電気技術者が電気系統を詳しく点検し、接点の状態を確認して過熱を防ぎます。
- ねじや固定具の緩み、本体・吊り金具・取付部の変形、電源コードの損傷・劣化・付着物を確認します。変形した筐体はほこりが入りやすくなり、固定不良は落下につながります。接地極は取り外さないでください。
- 内部の整備は認定サービス技術者に依頼し、部品はADJ販売店から純正品を手配してください。

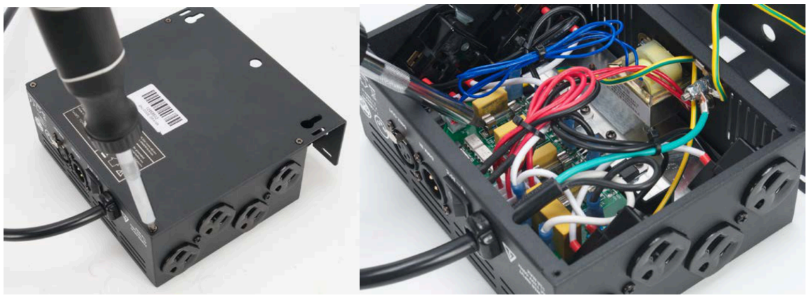


図6　背面パネルと内部基板（サービス担当者用）

製品仕様

項目	仕様
制御	DMX512、RDM（リモートデバイス管理）、内蔵チェイス16種類
電源出力	接地極付き3ピンEdison出力×8（4チャンネル、各2口）
信号入出力	3ピンXLR DMX入力×1、3ピンXLR DMX出力×1
電源コード／操作	接地極付き3ピンAC電源コード（本体直付け、1.5 m）／主電源スイッチ
外形寸法	長さ260 × 幅209 × 高さ76 mm（水平設置時）
質量	2.72 kg
定格電源	AC 100 V、50/60 Hz
最大負荷	本体合計15 A／1,500 W、1チャンネル合計5 A／500 W
ヒューズ	6.3 A、普通溶断形（定格電圧の原文記載差は「トラブルシューティング・保守」参照）
サージ保護	ライン－ニュートラル間

ヒューズの手配時は、本機に適合する交換品をメーカーに確認してください（「トラブルシューティング・保守」参照）。